

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 8 号

第 8 週( 2月18日 ~ 2月24日)

発行年月日:平成20年(2008年) 2月29日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

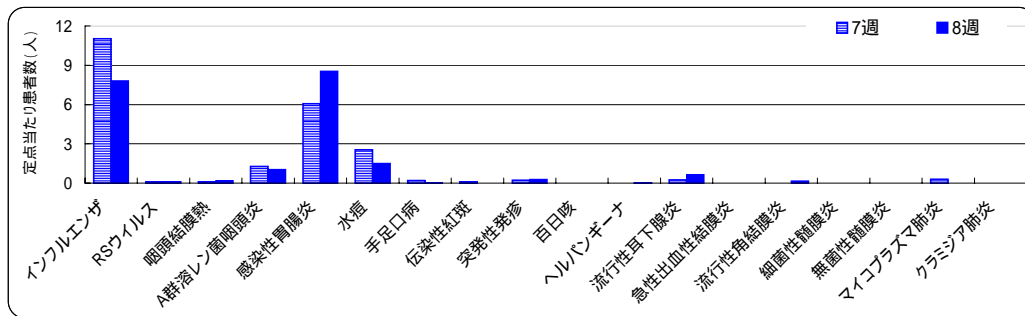
#### インフルエンザに注意報発令中(平成20年第3週~)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりさらに減少しています。特にインフルエンザおよび水痘で少なくなっています。今週増加した疾患は感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、水痘等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

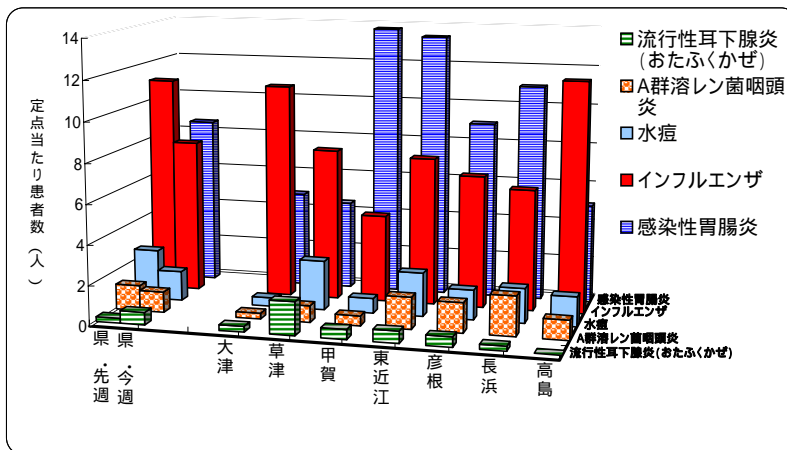
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザでは高島で警報発生継続基準値を超え、大津保健所管内で注意報発生基準値を超えているため県内全域に、先週に引き続き注意報が発令されています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第8週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

インフルエンザは大津および高島でやや多く、感染性胃腸炎は甲賀、東近江、彦根および長浜で多くなっています。

#### 感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により流行状況を示しています。

##### 流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

##### 流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (8週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (8週)	全国 (8週)	滋賀	全国 <sup>(*)1)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	34	2,966	177	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	44	<sup>(*)2)</sup> 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	101	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	4	1	22
	E型肝炎	0	0	6	1	54
	A型肝炎	0	0	32	1	154
	デング熱	0	1	10	1	89
	マラリア	0	0	5	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	2	118	8	655
	アメーバ赤痢	0	1	108	15	781
	ウイルス性肝炎	0	1	33	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	17	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	14	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	2	166	9	1,449
	ジアルジア症	0	0	7	1	56
	梅毒	0	0	88	2	714
	急性脳炎	0	0	37	2	216
	風しん <sup>(*)3)</sup>	0	0	66	-	-
麻しん <sup>(*)3)</sup>	0	0	2,638	-	-	

\*1:平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

\*3:平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第8週(2/18~2/24) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: マラリア 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 18例
二類感染症: 結核 279例	: つつが虫病 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
三類感染症: 細菌性赤痢 2例	: レジオネラ症 12例	劇症型溶血性
腸管出血性	五類感染症: アメーバ赤痢 11例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 12例	: ジアルジア症 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例
腸ラチフス 2例	: 梅毒 13例	急性脳炎 3例
パラチフス 1例	: 破傷風 2例	風しん 4例
四類感染症: デング熱 2例	: ウイルス性肝炎 4例	麻しん 370例

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第3~8週、1/14~2/24)

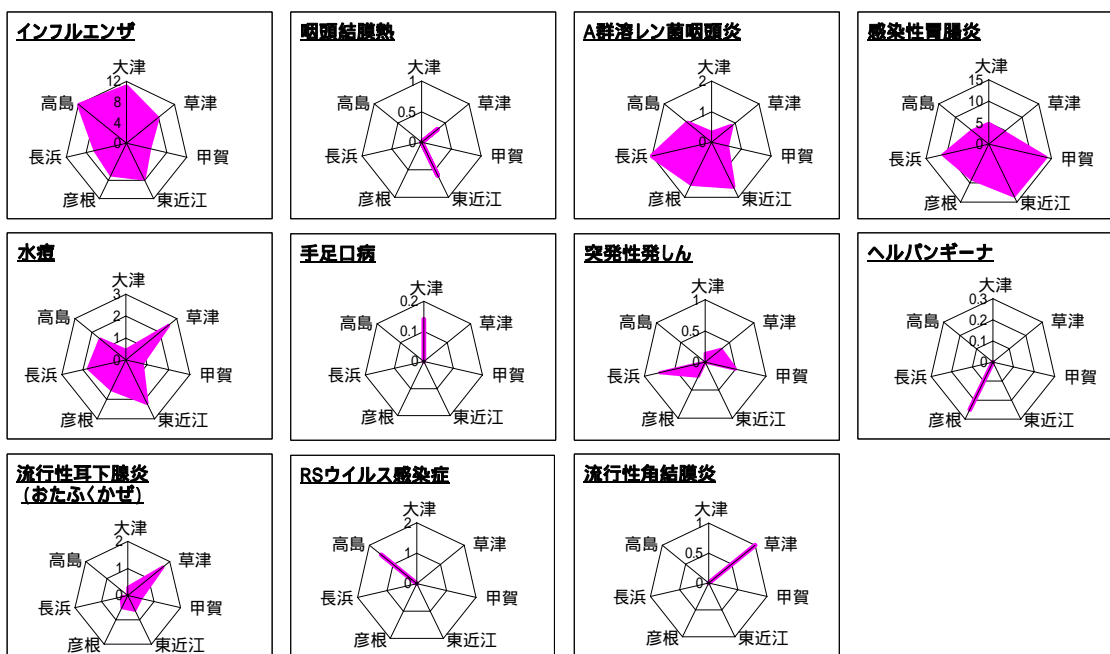
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	3週 (1/14~)	4週 (1/21~)	5週 (1/28~)	6週 (2/4~)	7週 (2/11~)	8週 (2/18~)	週 4 5 6 7 8
インフルエンザ	11.17	16.53	16.57	16.89	11.02	7.79	
RSウイルス感染症	0.13	0.38	0.19	0.19	0.09	0.09	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.09	0.06	0.03	0.09	0.16	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.84	1.16	1.09	1.28	1.03	
感染性胃腸炎	10.94	11.69	10.34	9.22	6.06	8.53	
水痘	1.53	2.03	1.22	1.78	2.53	1.50	
手足口病	0.19	0.19	0.13	0.03	0.19	0.03	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.16	0.09	0.09	0	
突発性発しん	0.56	0.63	0.53	0.31	0.22	0.28	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0.06	0	0	0.03	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0.19	0.59	0.41	0.25	0.63	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0.14	0.14	0.57	0	0.14	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第8週、2/18~2/24)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	7.79	10.91	7.70	4.43	7.50	6.71	6.14	11.67	
RSウイルス感染症	0.09	0	0	0	0	0	0	1.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0	0.33	0	0.60	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	0.29	0.83	0.50	1.60	1.50	2.00	1.00	
感染性胃腸炎	8.53	4.86	4.50	13.75	13.40	9.00	11.00	5.00	
水痘	1.50	0.43	2.50	0.75	2.20	1.50	1.75	1.50	
手足口病	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.28	0.14	0.33	0.50	0	0.25	0.75	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.63	0.29	1.67	0.50	0.60	0.50	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 3 6 9

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

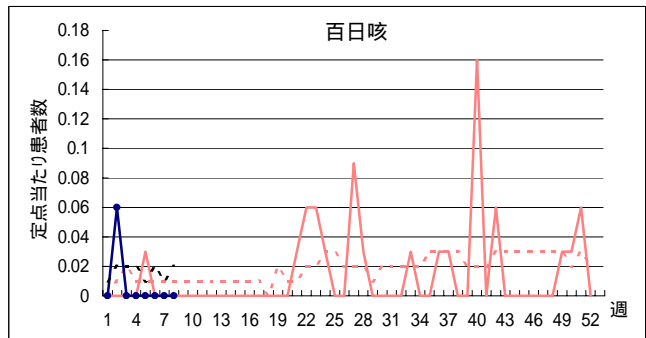
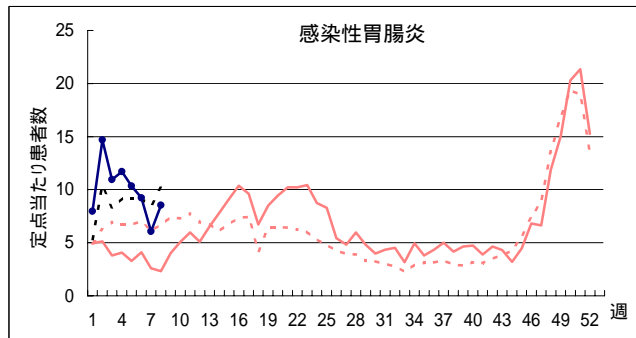
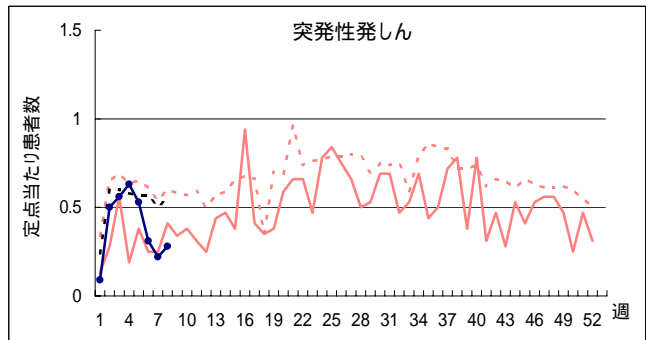
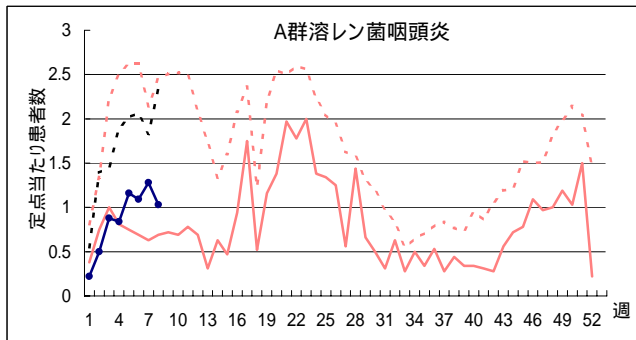
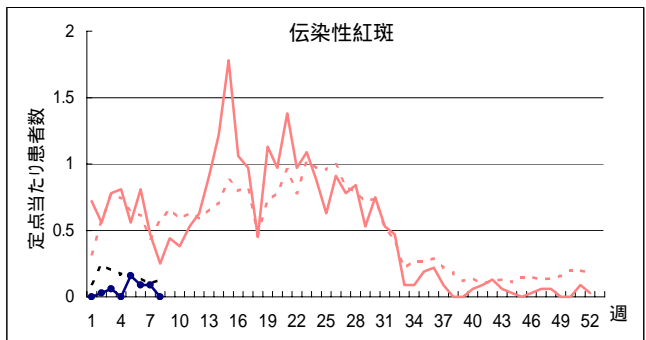
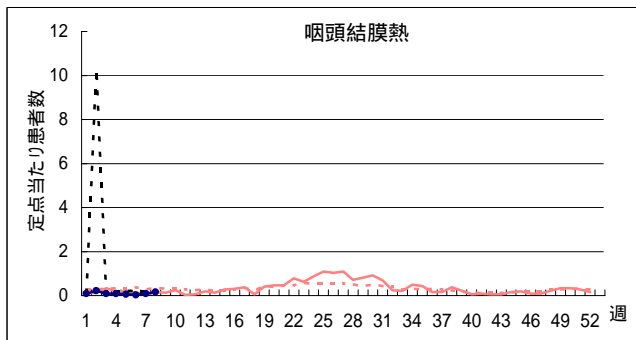
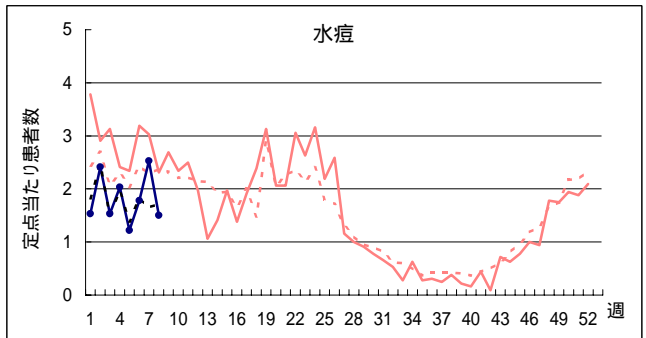
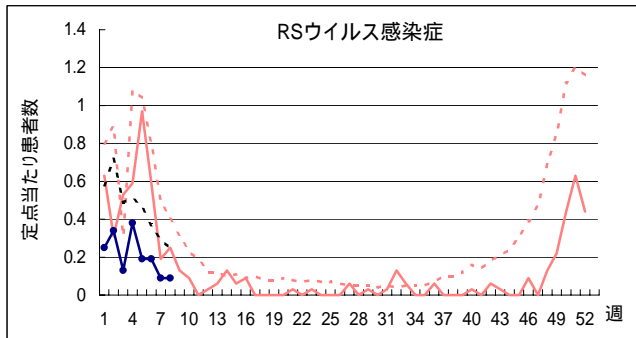
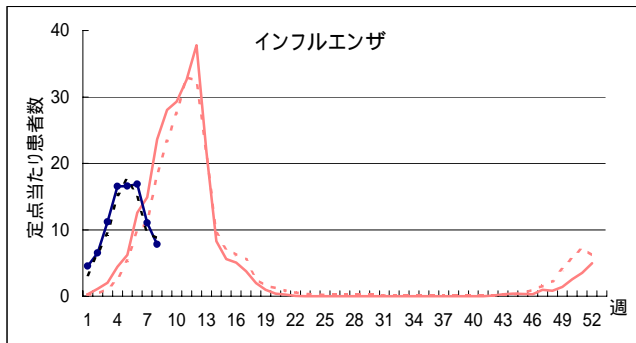


今週の発生状況：

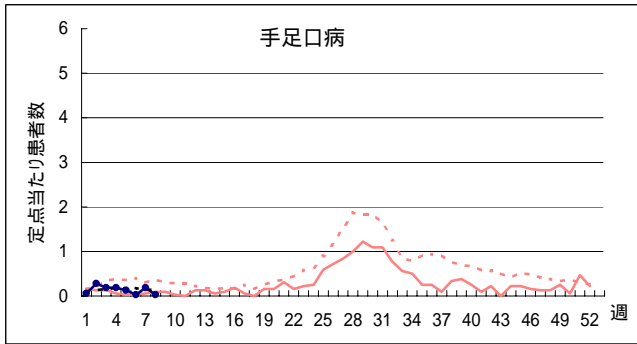
- インフルエンザ-----県全体では先週よりさらに減少し定点当たり患者数は7.79となっていますが、高島では定点当たり患者数が11.67となり、先週に引き続き警報継続基準値(10.00)を超えています。大津では先週と同様、注意報開始基準値(10.00)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では4週間ぶりに増加し、草津および高島以外で先週より多くなっています。特に甲賀で倍増し、定点当たり患者数は13.75と多くなっています。
- 水痘-----先週多かった草津および甲賀では減少し、定点当たり患者数は注意報開始基準値(4.00)未満となっています。
- 流行性耳下腺炎-----草津で先週よりかなり多くなっています。また、県全体の年齢別発生割合(1~8週)は下記のとおりで、2歳、3歳および5歳では他の年齢層よりやま多くなっています。

	年 齢													
	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~
発生割合(%)	0	0	3.10	15.50	18.60	10.30	17.50	10.30	8.20	7.20	2.10	7.20	0	0

# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第8週、H19.12.31～H20.2.24)



# 疾病別定点当たり患者数(平成20年第8週、H19.12.31～H20.2.24)



H19 { 滋賀 ————  
       全国 - - - - -  
 H20 { 滋賀 ●—●—  
       全国 - - - - -

